

注3

大学番号：私154

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

北陸大学 医療保健学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人北陸大学  
令和元年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総合企画局

職名・氏名 企画課長 フクムラ 福村 ヤスタカ 靖貴

電話番号 076-229-1161

（夜間） 076-229-1161

F A X 076-229-1348

e-mail s-kikaku@hokuriku-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 医療保健学部

＜医療技術学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	28

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人北陸大学

## (2) 大学名

北陸大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒920-1180

石川県金沢市太陽が丘1丁目1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オグラ ツトム) 小倉 勤 (平成25年1月)		
学 長	(オグラ ツトム) 小倉 勤 (平成24年1月)		
学 部 長	(シバタ ヒロシ) 柴田 宏 (平成29年4月)		
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 医療技術学科 学士(医療技術学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	60人	— 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		—		—		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60 (—) [—]	—	60 (—) [—]	—	60 (—) [—]	—	—	—	—	—	1.10倍	—倍	
志願者数	402 (—) [—]	— (—) [—]	235 (—) [—]	— (—) [—]	333 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	400 (—) [—]	— (—) [—]	229 (—) [—]	— (—) [—]	328 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	162 (—) [—]	— (—) [—]	167 (—) [—]	— (—) [—]	194 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	64 (—) [—]	— (—) [—]	63 (—) [—]	— (—) [—]	72 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	1.06		1.05		1.20		—		—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		—		—		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	62 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	61 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	72 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
2年次	/		61 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	63 [ — ] ( 2 )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
3年次			/		/		59 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )
4年次	/						/		/		— [ — ] ( — )
計			62 [ — ] ( — )	122 [ — ] ( — )	194 [ — ] ( 2 )	— [ — ] ( — )					— [ — ] ( — )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	64 人	2 人	平成29年度	2 人	0 人	進路変更(2人)
平成30年度	125 人	3 人	平成29年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
			平成30年度	2 人	0 人	進路変更(2人)
令和元年度	194 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
-	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
-	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
合計		5 人		5 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{64} = \boxed{3.12} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{125} = \boxed{2.4} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{194} = \boxed{0} \%$$

【 - 年度】

$$\frac{\text{- 年度の退学者数(a)}}{\text{- 年度の退学者数(a)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【 - 年度】

$$\frac{\text{- 年度の退学者数(a)}}{\text{- 年度の退学者数(a)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<医療保健学部 医療技術学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教養科目	自然科学概論	1前	2								3
	生命・医療倫理学	1後	2								1
	心理学	1・2前・後		2							1
	哲学	1・2前・後		2							1
	社会保障と福祉	1・2前・後		2							1
	北陸の文化と社会	1・2前・後		2							1
	日本史	1・2前・後		2							1
	社会学	1・2前・後		2							1
	法学(日本国憲法含む)	1・2前・後		2							1
	スポーツ	1・2前・後		1							2
	英会話	1・2前・後		1							1
	生物学	1前		1		1					
	化学	1前		1			1				
	物理学	1前		1				1			
	数学	1前		1							1
	英語Ⅰ	1前		2							2
	英語Ⅱ	1後		2							2
	科学英語の基礎	2前		1							2
	医学英語	4後		1			1				
	基礎ゼミナールⅠ	1前		1		7	5	2			
	基礎ゼミナールⅡ	1後		1		7	5	2			
	海外研修	1・2前・後			1						1
小計(22科目)	—		12	21	0	7	5	2	0	0	15
専門基礎科目	医学概論	1前	1								1
	看護学概論	1後	1								1
	公衆衛生学	4後	1								1
	関係法規	4後	1								1
	人体の構造と機能Ⅰ	1前	4			1					
	人体の構造と機能Ⅱ	1後	1			1	1				
	解剖学実習	1後	1			1				1	
	生理学実習	1後	1			1	1			1	
	生化学	1後	4			1					
	生化学実習	1後	1			1				1	
	病理学Ⅰ	2前	1								1
	病理学Ⅱ	2前	1			1					
	病理学実習	2後	1			1	1				
	医用検査機器学	1前	3			1					
	医用工学概論	1前	2					1			
	医用工学概論実習	2後	1					1		1	
	薬と生体反応	3前	2								1
	薬理学	3後	2								1
	臨床薬理学	4後	1								1
	応用数学	2前	1					1			
	電気工学	1後	2					1			
	電子工学	2前	2					1			
生体物性・材料工学	3前	2			1						
計測・機械工学	2前	2			1						
医用機器学概論	1後	2			1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教養科目	自然科学概論	1前	2								3
	生命・医療倫理学	1後	2								1
	心理学	1・2前・後		2							1
	哲学	1・2前・後		2							1
	社会保障と福祉	2前・後		2							1
	北陸の文化と社会	1・2前・後		2							1
	日本史	2前・後		2							1
	社会学	1・2前・後		2							1
	法学(日本国憲法含む)	1前・後		2							1
	スポーツ	1・2前・後		1							1
	英会話(未開講)	1・2前・後		1							1
	生物学	1前		1		1					
	化学	1前		1							1
	物理学	1前		1			1		1		
	数学	1前		1							1
	英語Ⅰ	1前		2							2
	英語Ⅱ	1後		2							2
	科学英語の基礎	2前		1							2
	医学英語	4後		1			1	1			
	基礎ゼミナールⅠ	1前		1			6	4	3		
	基礎ゼミナールⅡ	1後		1			6	4	3		
	海外研修	1・2前・後			1						1
小計(22科目)	—		12	21	0	7	4	3	0	0	15
専門基礎科目	医学概論	1前	1								1
	看護学概論	1後	1								1
	公衆衛生学	4後	1								1
	関係法規	4後	1								1
	人体の構造と機能Ⅰ	1前	4				1				
	人体の構造と機能Ⅱ	1後	1				1				
	解剖学実習	1後	1				1				1
	生理学実習	1後	1				1				1
	生化学	1後	4				1				
	生化学実習	1後	1				1				1
	病理学Ⅰ	2前	1								1
	病理学Ⅱ	2前	1								1
	病理学実習	2後	1					1			1
	医用検査機器学	1前	3					1			
	医用工学概論	1前	2							1	
	医用工学概論実習	2後	1						1		1
	薬と生体反応	3前	2								1
	薬理学	3後	2								1
	臨床薬理学	4後	1								1
	応用数学	2前	1						1		
	電気工学	1後	2						1		
	電子工学	2前	2						1		
生体物性・材料工学	3前	2				1					
計測・機械工学	2前	2				1					
医用機器学概論	1後	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	情報科学概論	1前	2					1				
	情報処理工学Ⅰ	1後	1					1				
	情報処理工学Ⅱ	2前	1					1				
	小計(28科目)	—	45	0	0	5	2	2	0	2	7	
専門科目	臨床検査総論Ⅰ	1前	2			1						
	臨床検査総論Ⅱ	3後	2			2						
	臨床検査総論実習Ⅰ	1前	1			1			1			
	臨床検査総論実習Ⅱ	2後	1			1			1			
	医動物学(実習含む)	2後	2				1			1		
	臨床血液学Ⅰ	3前	2			1						
	臨床血液学Ⅱ	3後	2			1						
	臨床血液学実習Ⅰ	3前	1			1			1			
	臨床血液学実習Ⅱ	3後	1			1			1			
	臨床免疫学Ⅰ	3前	2			1						
	臨床免疫学Ⅱ	3後	2			1						
	臨床免疫学実習Ⅰ	3前	1			1				1		
	臨床免疫学実習Ⅱ	3後	1			1				1		
	臨床微生物学	2後	3				1					
	臨床微生物学実習	3後	1				1			1		
	臨床生化学Ⅰ	2前	1			1						
	臨床生化学Ⅱ	2後	1			1						
	臨床生化学実習Ⅰ	2前	1			1			1			
	臨床生化学実習Ⅱ	2後	1			1			1			
	放射線検査学	2前	1								1	
	生理機能計測学Ⅰ	3前	1				1					
	生理機能計測学Ⅱ	3後	1				1					
	生理機能計測学実習Ⅰ	3前	1				2					
	生理機能計測学実習Ⅱ	3後	1				2					
	医療安全管理学(実習含む)	3後	1							1	1	
	生体計測装置学	3前	2				2					
	細胞生物学	2前・後		2			1					
	分析技術学	3前・後		2		3						
	画像解析学	4後		2								1
	生体機能代行装置学	2後	2				1					
	生体機能代行装置学実習	2後	1				1			1		
	医用機器安全管理学	3前	2				1					
	医用治療機器学	2後	2				1					
	医用治療機器・安全管理学実習	3後	1				1			1		
	臨床医学総論	4後	2								1	
	臨床検査学演習	4後	2			4	2					
	臨床工学演習	4後	2			2	2	2				
	地域子一ム医療論	4後	1			1						
	専門職連携演習	4後	1			1						
	卒業研究Ⅰ	4前	1			7	5	1				
	卒業研究Ⅱ	4後	2			7	5	1				
	臨地実習	4前	4			5	2	1	1	1		
	臨床実習	4前	4			1	2			1		
小計(43科目)	—	63	6	0	8	5	2	1	2	4		
合計(93科目)	—	120	27	0	8	5	2	1	2	25		
卒業要件及び履修方法												
一般教養科目から20単位(必修12単位含む)以上、専門基礎科目から必修45単位、専門科目から必修63単位、専門科目の選択科目から2単位以上を修得し、合計130単位(必修120単位、選択10単位)以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	情報科学概論	1前	2					1				
	情報処理工学Ⅰ	1後	1					1				
	情報処理工学Ⅱ	2前	1					1				
	小計(28科目)	—	45	0	0	4	2	2	0	2	8	
専門科目	臨床検査総論Ⅰ	1前	2			1						
	臨床検査総論Ⅱ	3後	2			1	1					
	臨床検査総論実習Ⅰ	1前	1			2		1			1	
	臨床検査総論実習Ⅱ	2後	1			1	1	1				
	医動物学(実習含む)	2後	2				1				1	
	臨床血液学Ⅰ	3前	2			1						
	臨床血液学Ⅱ	3後	2			1						
	臨床血液学実習Ⅰ	3前	1			1	1	1				
	臨床血液学実習Ⅱ	3後	1			1	1	1				
	臨床免疫学Ⅰ	3前	2			1						
	臨床免疫学Ⅱ	3後	2			1						
	臨床免疫学実習Ⅰ	3前	1			1					1	
	臨床免疫学実習Ⅱ	3後	1			1					1	
	臨床微生物学	2後	3				1					
	臨床微生物学実習	3後	1				1				1	
	臨床生化学Ⅰ	2前	1			1						
	臨床生化学Ⅱ	2後	1			1						
	臨床生化学実習Ⅰ	2前	1			1			1			
	臨床生化学実習Ⅱ	2後	1			1			1			
	放射線検査学	2前	1									1
	生理機能計測学Ⅰ	3前	1				1					
	生理機能計測学Ⅱ	3後	1				1					
	生理機能計測学実習Ⅰ	3前	1				1				1	
	生理機能計測学実習Ⅱ	3後	1				1				1	
	医療安全管理学(実習含む)	3後	1								1	1
	生体計測装置学	3前	2				2					
	細胞生物学	2前・後		2			1					
	分析技術学	3前・後		2			2	1				
	画像解析学	4後		2								1
	生体機能代行装置学	2後	2				1					
	生体機能代行装置学実習	2後	1				1				1	
	医用機器安全管理学	3前	2				1					
	医用治療機器学	2後	2				1					
	医用治療機器・安全管理学実習	3後	1				1				1	
	臨床医学総論	4後	2									1
	臨床検査学演習	4後	2				4	2				
	臨床工学演習	4後	2				1	2	2			
	地域子一ム医療論	4後	1				1					
	専門職連携演習	4後	1				1					
	卒業研究Ⅰ	4前	1				6	4	1			
	卒業研究Ⅱ	4後	2				6	4	1			
	臨地実習	4前	4				4	3	2		1	
	臨床実習	4前	4				1	1			1	
小計(43科目)	—	63	6	0	7	4	3	0	2	6		
合計(93科目)	—	120	27	0	7	4	3	0	2	28		
卒業要件及び履修方法												
一般教養科目から20単位(必修12単位含む)以上、専門基礎科目から必修45単位、専門科目から必修63単位、専門科目の選択科目から2単位以上を修得し、合計130単位(必修120単位、選択10単位)以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))												



【平成29年度】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教養科目	自然科学概論	1前	2								3
	生命・医療倫理学	1後	2								1
	心理学	1・2前・後	2								1
	哲学	1・2前・後	2								1
	社会保障と福祉	2前・後	2								1
	北陸の文化と社会	2前・後	2								1
	日本史	2前・後	2								1
	社会学	1・2前・後	2								1
	法学(日本国憲法含む)	2前・後	2								1
	スポーツ	1・2前・後	1								1
	英会話	1・2前・後	1								1
	生物学	1前	1			1					
	化学	1前	1								1
	物理学	1前	1					1			
	数学	1前	1								1
	英語 I	1前	2								2
	英語 II	1後	2								2
	科学英語の基礎	2前	1								2
	医学英語	4後	1			1					
	基礎ゼミナール I	1前	1			7	4	2			
	基礎ゼミナール II	1後	1			7	4	2			
	海外研修	1・2前・後	1								1
小計(22科目)	—	12	21	0	7	4	2	0	0	16	
専門基礎科目	医学概論	1前	1								1
	看護学概論	1後	1								1
	公衆衛生学	4後	1								1
	関係法規	4後	1								1
	人体の構造と機能 I	1前	4			1					
	人体の構造と機能 II	1後	1			1					
	解剖学実習	1後	1			1			1		
	生理学実習	1後	1			1	1		1		
	生化学	1後	4			1					
	生化学実習	1後	1			1			1		
	病理学 I	2前	1								1
	病理学 II	2前	1			1					
	病理学実習	2後	1			1	1				
	医用検査機器学	1前	3			1					
	医用工学概論	1前	2					1			
	医用工学概論実習	2後	1					1	1		
	薬と生体反応	3前	2								1
	薬理学	3後	2								1
	臨床薬理学	4後	1								1
	応用数学	2前	1					1			
	電気工学	1後	2					1			
	電子工学	2前	2					1			
	生体物性・材料工学	3前	2			1					
	計測・機械工学	2前	2			1					
	医用機器学概論	1後	2			1					
	情報科学概論	1前	2					1			
	情報処理工学 I	1後	1					1			
	情報処理工学 II	2前	1					1			
小計(28科目)	—	45	0	0	5	2	2	0	2	7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教養科目	自然科学概論	1前	2								3
	生命・医療倫理学	1後	2								1
	心理学	1・2前・後	2								1
	哲学	1・2前・後	2								1
	社会保障と福祉	2前・後	2								1
	北陸の文化と社会	2前・後	2								1
	日本史	2前・後	2								1
	社会学	1・2前・後	2								1
	法学(日本国憲法含む)	2前・後	2								1
	スポーツ	1・2前・後	1								1
	英会話	1・2前・後	1								1
	生物学	1前	1			1					
	化学	1前	1								1
	物理学	1前	1						1		
	数学	1前	1								1
	英語 I	1前	2								2
	英語 II	1後	2								2
	科学英語の基礎	2前	1								2
	医学英語	4後	1			1	1				
	基礎ゼミナール I	1前	1			6	5	2			
	基礎ゼミナール II	1後	1			6	5	2			
	海外研修	1・2前・後	1								1
小計(22科目)	—	12	21	0	6	5	2	0	0	16	
専門基礎科目	医学概論	1前	1								1
	看護学概論	1後	1								1
	公衆衛生学	4後	1								1
	関係法規	4後	1								1
	人体の構造と機能 I	1前	4			1					
	人体の構造と機能 II	1後	1			1					
	解剖学実習	1後	1			1				1	
	生理学実習	1後	1			1	1			1	
	生化学	1後	4			1					
	生化学実習	1後	1			1				1	
	病理学 I	2前	1								1
	病理学 II	2前	1			1					
	病理学実習	2後	1			1	2				
	医用検査機器学	1前	3			1					
	医用工学概論	1前	2					1			
	医用工学概論実習	2後	1					1		1	
	薬と生体反応	3前	2								1
	薬理学	3後	2								1
	臨床薬理学	4後	1								1
	応用数学	2前	1						1		
	電気工学	1後	2						1		
	電子工学	2前	2						1		
	生体物性・材料工学	3前	2			1					
	計測・機械工学	2前	2			1					
	医用機器学概論	1後	2			1					
	情報科学概論	1前	2						1		
	情報処理工学 I	1後	1						1		
	情報処理工学 II	2前	1						1		
小計(28科目)	—	45	0	0	4	3	2	0	2	7	



- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成29年度】**

- ・ 一般教養科目の時間割調整により、「社会保障と福祉」「北陸の文化と社会」「日本史」「法学（日本国憲法含む）」の配当年次を「1・2前・後」から「2前・後」に変更。
- ・ 加藤隆幸准教授の就任辞退により、「化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 加藤隆幸准教授の就任辞退により、「医学英語」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 加藤隆幸准教授の就任辞退により、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
- ・ 加藤隆幸准教授の就任辞退により、「人体の構造と機能Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 加藤隆幸准教授の就任辞退により、「生理学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」に担当者を変更。
- ・ 加藤隆幸准教授の就任辞退により、「細胞生物学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 加藤隆幸准教授の就任辞退により、「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。

**【平成30年度】**

- ・ 一般教養科目の時間割調整により、「北陸の文化と社会」の配当年次を「2前・後」から「1・2前・後」に変更。
- ・ 教育効果に配慮して教員を追加し、「医学英語」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 尾崎聡教授の就任辞退と後任教員の就任により、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」、「准教授4」から「准教授5」に変更。
- ・ 尾崎聡教授の就任辞退と後任教員の就任により、「病理学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 尾崎聡教授の就任辞退と後任教員の就任により、「病理学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・ 尾崎聡教授の就任辞退と後任教員の就任により、「臨床検査総論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 教育効果に配慮して教員を追加し、「臨床検査総論実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 尾崎聡教授の就任辞退と後任教員の就任により、「臨床検査総論実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 教育効果に配慮して教員を追加し、「臨床血液学実習Ⅰ」「臨床血液学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 尾崎聡教授の就任辞退と後任教員の就任により、「分析技術学」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 尾崎聡教授の就任辞退と後任教員の就任により、「臨床工学演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・ 尾崎聡教授の就任辞退と後任教員の就任により、「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」、「准教授4」から「准教授5」に変更。
- ・ 尾崎聡教授の就任辞退と後任教員の就任により、「臨地実習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」、「准教授2」から「准教授3」に変更。

**【令和元年度】**

- ・ 教育効果に配慮して、「物理学」をオムニバスに変更し、教員を追加して専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・ 滝野豊助教の昇任と科目追加により、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ 滝野豊助教の昇任により、「臨床検査総論実習Ⅰ」「臨床検査総論実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ 滝野豊助教の昇任により、「臨床血液学実習Ⅰ」「臨床血液学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ 滝野豊助教の昇任により、「臨床生化学実習Ⅰ」「臨床生化学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ 滝野豊助教の昇任により、「臨地実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ 生駒准教授の退職により、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
- ・ 生駒准教授の退職により、「生理学実習」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更し、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 生駒准教授の退職により、「生理機能計測学実習Ⅰ」「生理機能計測学実習Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更し、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 生駒准教授の退職により、「生体計測装置学」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・ 生駒准教授の退職により、「臨床工学演習」の専任教員の配置を「准教授3」から「准教授2」へ変更。
- ・ 生駒准教授の退職により、「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授5」から「准教授4」へ変更。
- ・ 生駒准教授の退職により、「臨床実習」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授1」へ変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
76 科目	17 科目	0 科目	93 科目	76 科目 [ 0 ]	17 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	93 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{93} = \boxed{\phantom{00}} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	屋内スポーツフィールド 設置のため(元)			
	校舎敷地	91,775.85 m <sup>2</sup> <del>89,137.35 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	91,775.85 m <sup>2</sup> <del>89,137.35 m<sup>2</sup></del>				
	運動場用地	43,500.49 m <sup>2</sup> <del>46,138.99 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	43,500.49 m <sup>2</sup> <del>46,138.99 m<sup>2</sup></del>				
	小 計	135,276.34 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	135,276.34 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	337,786.99 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	337,786.99 m <sup>2</sup>				
	合 計	473,063.33 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	473,063.33 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	太陽が丘3号棟の登記 面積(実測)(29)			
		58,305.62 m <sup>2</sup> <del>58,402.58 m<sup>2</sup></del> (58,305.62 m <sup>2</sup> ) ( <del>58,402.58 m<sup>2</sup></del> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	58,305.62 m <sup>2</sup> <del>58,402.58 m<sup>2</sup></del> (58,305.62 m <sup>2</sup> ) ( <del>58,402.58 m<sup>2</sup></del> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	40 室	62 室	129 室	5 室 (補助職員 2人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医療保健学部 医療技術学科			13 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分 243,985冊 242,113冊 240,522冊 図書232,659冊 〔97,490冊〕 〔97,536冊〕 〔97,869冊〕 〔89,638冊〕 1,202種 1,263種 1,262種 学術雑誌1,259種 〔672種〕 〔674種〕 〔673種〕 〔674種〕 電子ジャーナル4,575種 〔4,575種〕 2,907点 2,915点 2,932点 視聴覚資料2,809点	
	医療保健学部 医療技術学科	1,642 [29] <del>(1,742 [30])</del> <del>(-1,453 [-18])</del> <del>(-1,092 [-13])</del>	12 [1] (12 [1]) <del>(-11 [0])</del>	0 [0] (0 [0])	15 (15)	639 <del>(639)</del> <del>(-588)</del> <del>(-208)</del>	19 (19) <del>(-0)</del>		
	計	1,642 [29] <del>(1,742 [30])</del> <del>(-1,453 [-18])</del> <del>(-1,092 [-13])</del>	12 [1] (12 [1]) <del>(-11 [0])</del>	0 [0] (0 [0])	15 (15)	639 <del>(639)</del> <del>(-588)</del> <del>(-208)</del>	19 (19) <del>(-0)</del>	図書等の購入・除却に より増減したため (元) 図書等の購入により増 加したため(30)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	3,689.34 m <sup>2</sup>	635		162,000					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体			
	6,456.86 m <sup>2</sup>	テニスコート5面(人工芝)		サッカー場2面(人工芝)					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は大学全体 図書購入費には電子ジャー ナル・データベースの整備費(運 用コストを含む)を含む 共同研究費等:共同研究 費の予算額に変更があっ たため(29)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	6,090千円	3,680千円	1,330千円	
	共 同 研 究 費 等	8,000千円 15,000千円	15,000千円	設備購入費	168,370千円	43,800千円	1,000千円		
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,700千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金, 資産運用収入, 雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数字を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



4. 既設大学等の状況

大学の名称	北 陸 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
医療保健学部	4	60	-	240	-	1.10	-	平成29年度	-	
医療技術学科	4	60	-	240	学士 (医療技術 学)	1.10	-	平成29年度	石川県金沢市太陽が丘1丁目1番地	
薬学部	6	200	-	1,200	-	0.56	-	平成18年度	-	
薬学科	6	200	-	1,200	学士 (薬学)	0.56	-	平成18年度	石川県金沢市金川町ホ3番地	
未来創造学部	4	-	-	-	-	-	-	平成20年度	-	
国際教養学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	平成20年度	石川県金沢市太陽が丘1丁目1番地	平成29年度より学 生募集停止
経済経営学部	4	230	3年次 123	1,166	-	1.22	-	平成20年度	-	
マネジメント学科	4	230	3年次 123	1,166	学士 (マネジメン ト学)	1.22	-	平成20年度	同上	平成29年度より学 部学科名称変更 未来創造学部→経 済経営学部 国際マネジメント学科→ マネジメント学科
国際コミュニケーション学部	4	80	3年次 20	360	-	1.07	-	平成29年度	-	
国際コミュニケーション学科	4	80	3年次 20	360	学士 (文学)	1.07	-	平成29年度	同上	
大学全体	4・6	570	143	2,966	-	0.98	-	-	-	
大学の名称	〇 〇 短 期 大 学									
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
該当なし	年	人	年次 人	人		倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	嶋津 秀昭 <平成30年4月>
		生体物性・材料工学 計測・機械工学 医用機器学概論 臨床工学演習※ 臨床実習
兼任	講師	嶋津 秀昭 <平成29年10月>
		医用機器学概論
専	教授	寺澤 文子 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 臨床生化学Ⅰ 臨床生化学Ⅱ 臨床生化学実習Ⅰ 臨床生化学実習Ⅱ 分析技術学※ 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	教授	中山 耕造 <平成29年4月>
		生物学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生化学 生化学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	油野 友二 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医用検査機器学 臨床検査総論Ⅰ 臨床検査総論Ⅱ※ 臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査学演習※ 地域チーム医療論 専門職連携演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	准教授	生駒 俊和 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生理機能計測学実習Ⅰ 生理機能計測学実習Ⅱ 生体計測装置学 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床実習
専	准教授	加藤 隆幸 <平成29年4月>
		化学 医学英語 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人体の構造と機能Ⅱ※ 生理学実習 細胞生物学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	佐藤 庸介 <平成29年4月>
		化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	嶋津 秀昭 <平成30年4月>
		生体物性・材料工学 計測・機械工学 医用機器学概論 臨床工学演習※ 臨床実習
兼任	講師	嶋津 秀昭 <平成29年10月>
		医用機器学概論
専	教授	寺澤 文子 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 臨床生化学Ⅰ 臨床生化学Ⅱ 臨床生化学実習Ⅰ 臨床生化学実習Ⅱ 分析技術学※ 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	教授	中山 耕造 <平成29年4月>
		生物学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生化学 生化学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	油野 友二 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医用検査機器学 臨床検査総論Ⅰ 臨床検査総論Ⅱ※ 臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査学演習※ 地域チーム医療論 専門職連携演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	准教授	生駒 俊和 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生理機能計測学実習Ⅰ 生理機能計測学実習Ⅱ 生体計測装置学 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床実習
兼任	講師	佐藤 庸介 <平成29年4月>
		化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	嶋津 秀昭 <平成30年4月>
		生体物性・材料工学 計測・機械工学 医用機器学概論 臨床工学演習※ 臨床実習
専	教授	寺澤 文子 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 臨床生化学Ⅰ 臨床生化学Ⅱ 臨床生化学実習Ⅰ 臨床生化学実習Ⅱ 分析技術学※ 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	教授	中山 耕造 <平成29年4月>
		生物学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生化学 生化学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	油野 友二 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医用検査機器学 臨床検査総論Ⅰ 臨床検査総論Ⅱ※ 臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査学演習※ 地域チーム医療論 専門職連携演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	准教授	生駒 俊和 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生理機能計測学実習Ⅰ 生理機能計測学実習Ⅱ 生体計測装置学 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床実習
兼任	講師	佐藤 庸介 <平成29年4月>
		化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	嶋津 秀昭 <平成30年4月>
		物理学※ 生体物性・材料工学 計測・機械工学 医用機器学概論 臨床工学演習※ 臨床実習
専	教授	寺澤 文子 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 臨床生化学Ⅰ 臨床生化学Ⅱ 臨床生化学実習Ⅰ 臨床生化学実習Ⅱ 分析技術学※ 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	教授	中山 耕造 <平成29年4月>
		生物学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生化学 生化学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	油野 友二 <平成29年4月>
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医用検査機器学 臨床検査総論Ⅰ 臨床検査総論Ⅱ※ 臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査学演習※ 地域チーム医療論 専門職連携演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
兼任	講師	本田 陽子 <平成31年4月>
		生理機能計測学実習Ⅰ 生理機能計測学実習Ⅱ
兼任	講師	佐藤 庸介 <平成29年4月>
		化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小宮 智義 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医動物学(実習含む) 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	准教授	高橋 純子 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生体機能代行装置学 生体機能代行装置学実習 医用機器安全管理学 医用治療機器学 医用治療機器・安全管理学実習 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床実習
専	准教授	濱田 敏彦 <平成30年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 病理学実習 生理機能計測学Ⅰ 生理機能計測学Ⅱ 生理機能計測学実習Ⅰ 生理機能計測学実習Ⅱ 生体計測装置学 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	講師	長原 三輝雄 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 情報科学概論 情報処理工学Ⅰ 情報処理工学Ⅱ 臨床工学演習※ 臨地実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	柴田 宏 <令和2年10月> 医学英語
専	教授	岩崎 信一 <平成29年10月> 人体の構造と機能Ⅱ
専	准教授	生駒 俊和 <平成29年10月> 生理学実習
専	教授	中山 耕造 <平成30年10月> 細胞生物学
専	准教授	小宮 智義 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医動物学(実習含む) 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	准教授	高橋 純子 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生体機能代行装置学 生体機能代行装置学実習 医用機器安全管理学 医用治療機器学 医用治療機器・安全管理学実習 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床実習
専	准教授	濱田 敏彦 <平成30年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 病理学実習 生理機能計測学Ⅰ 生理機能計測学Ⅱ 生理機能計測学実習Ⅰ 生理機能計測学実習Ⅱ 生体計測装置学 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	講師	長原 三輝雄 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 情報科学概論 情報処理工学Ⅰ 情報処理工学Ⅱ 臨床工学演習※ 臨地実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	柴田 宏 <令和2年10月> 医学英語
専	教授	岩崎 信一 <平成29年10月> 人体の構造と機能Ⅱ
専	准教授	生駒 俊和 <平成29年10月> 生理学実習
専	教授	中山 耕造 <平成30年4月> 細胞生物学
専	准教授	佐藤 妃映 <令和2年10月> 医学英語
専	准教授	小宮 智義 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医動物学(実習含む) 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	准教授	高橋 純子 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生体機能代行装置学 生体機能代行装置学実習 医用機器安全管理学 医用治療機器学 医用治療機器・安全管理学実習 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床実習
専	准教授	濱田 敏彦 <平成30年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 病理学実習 生理機能計測学Ⅰ 生理機能計測学Ⅱ 生理機能計測学実習Ⅰ 生理機能計測学実習Ⅱ 生体計測装置学 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	講師	長原 三輝雄 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 情報科学概論 情報処理工学Ⅰ 情報処理工学Ⅱ 臨床工学演習※ 臨地実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	柴田 宏 <令和2年10月> 医学英語
専	教授	岩崎 信一 <平成29年10月> 人体の構造と機能Ⅱ
兼任	講師	高寺 恒雄 <令和元年10月> 生理学実習
専	教授	中山 耕造 <平成30年4月> 細胞生物学
専	准教授	佐藤 妃映 <令和2年10月> 医学英語
専	准教授	小宮 智義 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医動物学(実習含む) 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	准教授	高橋 純子 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生体機能代行装置学 生体機能代行装置学実習 医用機器安全管理学 医用治療機器学 医用治療機器・安全管理学実習 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床実習
専	准教授	濱田 敏彦 <平成30年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 病理学実習 生理機能計測学Ⅰ 生理機能計測学Ⅱ 生理機能計測学実習Ⅰ 生理機能計測学実習Ⅱ 生体計測装置学 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習
専	講師	長原 三輝雄 <平成29年4月> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 情報科学概論 情報処理工学Ⅰ 情報処理工学Ⅱ 臨床工学演習※ 臨地実習



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	服部 託夢 <平成29年4月>
		物理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医用工学概論 医用工学概論実習 応用数学 電気工学 電子工学 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	滝野 豊 <平成29年4月>
		臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査総論実習Ⅱ 臨床血液学実習Ⅰ 臨床血液学実習Ⅱ 臨床生化学実習Ⅰ 臨床生化学実習Ⅱ 臨地実習
兼任	教授	東風 安生 <平成29年4月>
		生命・医療倫理学 哲学
兼任	教授	松本 和彦 <平成29年4月>
		社会保障と福祉
兼任	教授	山本 啓一 <平成29年4月>
		法学(日本国憲法含む)
兼任	教授	笠原 祥士郎 <平成29年4月>
		海外研修
兼任	准教授	福江 充 <平成29年4月>
		北陸の文化と社会 日本史
兼任	准教授	轟 里香 <平成29年4月>
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎
兼任	准教授	井上 裕子 <平成29年4月>
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎
兼任	講師	亀井 敬 <平成29年4月>
		自然科学概論※
兼任	講師	武本 眞清 <平成29年4月>
		自然科学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	服部 託夢 <平成29年4月>
		物理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医用工学概論 医用工学概論実習 応用数学 電気工学 電子工学 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	滝野 豊 <平成29年4月>
		臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査総論実習Ⅱ 臨床血液学実習Ⅰ 臨床血液学実習Ⅱ 臨床生化学実習Ⅰ 臨床生化学実習Ⅱ 臨地実習
兼任	教授	東風 安生 <平成29年4月>
		生命・医療倫理学 哲学
兼任	教授	松本 和彦 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		社会保障と福祉
兼任	教授	山本 啓一 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		法学(日本国憲法含む)
兼任	教授	笠原 祥士郎 <平成29年4月>
		海外研修
兼任	准教授	福江 充 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		北陸の文化と社会 日本史
兼任	准教授	轟 里香 <平成29年4月>
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎
兼任	教授	井上 裕子 <平成29年4月>
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎
兼任	講師	亀井 敬 <平成29年4月>
		自然科学概論※
兼任	講師	武本 眞清 <平成29年4月>
		自然科学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	服部 託夢 <平成29年4月>
		物理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医用工学概論 医用工学概論実習 応用数学 電気工学 電子工学 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	滝野 豊 <平成29年4月>
		臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査総論実習Ⅱ 臨床血液学実習Ⅰ 臨床血液学実習Ⅱ 臨床生化学実習Ⅰ 臨床生化学実習Ⅱ 臨地実習
兼任	教授	東風 安生 <平成29年4月>
		生命・医療倫理学 哲学
兼任	教授	松本 和彦 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		社会保障と福祉
兼任	教授	山本 啓一 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		法学(日本国憲法含む)
兼任	講師	佃 貴弘 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		法学(日本国憲法含む)
兼任	教授	笠原 祥士郎 <平成29年4月>
		海外研修
兼任	准教授	福江 充 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		北陸の文化と社会 日本史
兼任	准教授	轟 里香 <平成29年4月>
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎
兼任	教授	井上 裕子 <平成29年4月>
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎
兼任	講師	亀井 敬 <平成29年4月>
		自然科学概論※
兼任	講師	武本 眞清 <平成29年4月>
		自然科学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	服部 託夢 <平成29年4月>
		<b>物理学※</b> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医用工学概論 医用工学概論実習 応用数学 電気工学 電子工学 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	滝野 豊 <平成29年4月>
		<b>基礎ゼミナールⅠ</b> <b>基礎ゼミナールⅡ</b> 臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査総論実習Ⅱ 臨床血液学実習Ⅰ 臨床血液学実習Ⅱ 臨床生化学実習Ⅰ 臨床生化学実習Ⅱ 臨地実習
兼任	教授	東風 安生 <平成29年4月>
		生命・医療倫理学 哲学
兼任	教授	松本 和彦 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		社会保障と福祉
兼任	教授	山本 啓一 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		法学(日本国憲法含む)
兼任	講師	佃 貴弘 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		法学(日本国憲法含む)
兼任	教授	笠原 祥士郎 <平成29年4月>
		海外研修
兼任	教授	福江 充 <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		北陸の文化と社会 日本史
兼任	准教授	轟 里香 <平成29年4月>
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎
兼任	教授	井上 裕子 <平成29年4月>
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎
兼任	講師	亀井 敬 <平成29年4月>
		自然科学概論※
兼任	講師	武本 眞清 <平成29年4月>
		自然科学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	藤本 和宏 <平成29年4月>
		自然科学概論※ 数学
兼任	講師	池田 啓一 <令和2年10月>
		公衆衛生学
兼任	講師	木藤 聡一 <令和2年10月>
		関係法規
兼任	講師	高野 克彦 <平成31年4月>
		薬と生体反応
兼任	助教	佐藤 友紀 <令和元年10月>
		薬理学 臨床薬理学
兼任	助教	西川 周吾 <平成29年4月>
		スポーツ
兼任	助教	渡邊 千春 <平成29年4月>
		スポーツ
兼任	講師	宮前 諒平 <平成29年4月>
		心理学
兼任	講師	井上 好人 <平成29年4月>
		社会学
兼任	講師	Eric Mornin <平成29年4月>
		英会話
兼任	講師	水上 勇治 <平成29年4月>
		医学概論 臨床医学総論
兼任	講師	多崎 恵子 <平成29年10月>
		看護学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	藤本 和宏 <平成29年4月>
		自然科学概論※ 数学
兼任	講師	池田 啓一 <令和2年10月>
		公衆衛生学
兼任	講師	木藤 聡一 <令和2年10月>
		関係法規
兼任	講師	高野 克彦 <平成31年4月>
		薬と生体反応
兼任	講師	佐藤 友紀 <令和元年10月>
		薬理学 臨床薬理学
兼任	助教	西川 周吾 <平成30年4月>
		スポーツ
兼任	助教	渡邊 千春 <平成29年4月>
		スポーツ
兼任	講師	宮前 諒平 <平成29年4月>
		心理学
兼任	講師	井上 好人 <平成29年10月>
		社会学
兼任	講師	Eric Mornin <平成29年4月>
		英会話
兼任	講師	水上 勇治 <平成29年4月>
		医学概論 臨床医学総論
兼任	講師	多崎 恵子 <平成29年10月>
		看護学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	藤本 和宏 <平成29年4月>
		自然科学概論※ 数学
兼任	講師	池田 啓一 <令和2年10月>
		公衆衛生学
兼任	講師	木藤 聡一 <令和2年10月>
		関係法規
兼任	講師	高野 克彦 <平成31年4月>
		薬と生体反応
兼任	講師	佐藤 友紀 <令和元年10月>
		薬理学 臨床薬理学
兼任	助教	西川 周吾 <平成30年4月>
		スポーツ
兼任	助教	渡邊 千春 <平成29年4月>
		スポーツ
兼任	講師	宮前 諒平 <平成29年4月>
		心理学
兼任	講師	井上 好人 <平成29年10月>
		社会学
兼任	講師	Eric Mornin <平成29年4月>
		英会話
兼任	講師	水上 勇治 <平成29年4月>
		医学概論 臨床医学総論
兼任	講師	多崎 恵子 <平成29年10月>
		看護学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	竹井 巖 <平成31年4月>
		自然科学概論※ 数学
兼任	講師	池田 啓一 <令和2年10月>
		公衆衛生学
兼任	講師	木藤 聡一 <令和2年10月>
		関係法規
兼任	講師	高野 克彦 <平成31年4月>
		薬と生体反応
兼任	講師	佐藤 友紀 <令和元年10月>
		薬理学 臨床薬理学
兼任	講師	西川 周吾 <平成30年4月>
		スポーツ
兼任	講師	宮前 諒平 <平成29年4月>
		心理学
兼任	講師	井上 好人 <平成29年10月>
		社会学
兼任	講師	Eric Mornin <平成29年4月>
		英会話
兼任	講師	水上 勇治 <平成29年4月>
		臨床医学総論
兼任	講師	西村 泰行 <平成31年4月>
		医学概論
兼任	講師	多崎 恵子 <平成29年10月>
		看護学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	小林 正和 <平成30年4月>	兼任	講師	小林 正和 <平成30年4月>				兼任	講師	小林 正和 <平成31年4月>
		放射線検査学			放射線検査学			放射線検査学			
								川井 恵一 <平成30年4月>			
								放射線検査学			
兼任	講師	宮地 利明 <令和2年10月>	兼任	講師	宮地 利明 <令和2年10月>	兼任	講師	宮地 利明 <令和2年10月>	兼任	講師	宮地 利明 <令和2年10月>
		画像解析学			画像解析学			画像解析学			
兼任	講師	小田 恵夫 <平成30年4月>	兼任	講師	小田 恵夫 <平成30年4月>	兼任	講師	小田 恵夫 <平成30年4月>	兼任	講師	小田 恵夫 <平成30年4月>
		病理学 I			病理学 I			病理学 I			
兼任	講師	西村 泰行 <令和元年10月>	兼任	講師	西村 泰行 <令和元年10月>	兼任	講師	西村 泰行 <令和元年10月>	兼任	講師	西村 泰行 <平成31年4月>
		医療安全管理学(実習含む)			医療安全管理学(実習含む)			医療安全管理学(実習含む)			
											山口 孝一 <平成31年4月>
											臨床検査総論実習 I

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・本人の都合により、岩崎信一教授の就任年月が平成29年9月から平成29年4月に変更。
- ・尾崎聡教授就任辞退。後任未定であるが、平成30年4月から専任教員採用予定で準備を進めている。
- ・教育効果に配慮し小宮山豊講師（兼任）を「臨床検査総論実習Ⅰ」の担当に追加。
- ・加藤隆幸准教授就任辞退。4科目を除き柴田宏教授・岩崎信一教授・中山耕造教授・生駒俊和准教授の専任教員4名と佐藤庸介講師（兼任）が科目担当。専任教員4名は平成29年1月AC教員審査済み。4科目については、複数の専任教員が担当するため、実施に支障はない。
- ・開講年度の調整により、松本和彦教授（兼任）・山本啓一教授（兼任）・福江允准教授（兼任）の就任年月を平成29年4月から平成30年4月に変更。
- ・井上裕子准教授（兼任）の職名を昇任により、教授に変更。
- ・佐藤友紀助教（兼任）の職名を昇任により、講師に変更。
- ・本人の都合により、西川周吾助教（兼任）の就任年月を平成29年4月から平成30年4月に変更。
- ・「社会学」の開講が10月の予定のため、井上好人講師（兼任）の就任年月を平成29年4月から平成29年10月に変更。

【平成30年度】

- ・尾崎聡教授就任辞退により、佐藤妃映准教授に変更。平成29年7月AC教員審査済み。
- ・小宮山豊教授の担当科目に「臨床検査総論実習Ⅰ」を追加。平成29年11月AC教員審査済み。
- ・時間割調整により、中山耕造教授の「細胞生物学」の就任年月を平成30年10月から平成30年4月に変更。
- ・教育効果に配慮し佐藤妃映准教授を「医学英語」の担当に追加。平成29年7月AC教員審査済み。
- ・所属学部の都合により、山本啓一教授（兼任）から佃貴弘講師（兼任）に変更。
- ・渡邊千春助教（兼任）が退職。他に1名の担当者がおり支障はない。
- ・西川周吾助教（兼任）の所属部署の変更に伴い、「専任・兼任・兼任の別」及び「職位」を「兼任」及び「講師」に変更。
- ・本人の都合により、小林正和講師（兼任）から川井恵一講師（兼任）に変更。

【令和元年度】

- ・教育効果に配慮し「物理学」をオムニバスに変更し、嶋津秀昭教授を担当者に追加。平成30年11月AC教員審査済み。
- ・教育効果に配慮し「物理学」をオムニバスに変更し、服部託夢講師の担当科目の内容変更。平成30年11月AC教員審査済み。
- ・滝野豊助教の職名を昇任により、講師に変更。担当科目に「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」を追加。平成31年1月AC教員審査済み。
- ・本人の都合により、生駒俊和准教授の退職（平成31年3月）に伴い、「生理機能計測学実習Ⅰ」「生理計測学実習Ⅱ」の担当者を本田陽子講師（兼任）、「生理学実習」の担当者を高寺恒雄講師（兼任）に変更。
- ・藤本和宏講師（兼任）の退職により、「自然科学概論」「数学」の担当者を竹井巖講師（兼任）に変更。
- ・本人の都合により、「医学概論」の担当者を水上勇治講師（兼任）から西村泰行講師（兼任）に変更。
- ・本人の都合により、「放射線検査学」の担当者を川井恵一講師（兼任）から小林正和講師（兼任）に変更。
- ・教育効果に配慮し山口孝一講師（兼任）を「臨床検査総論実習Ⅰ」の担当者に追加。
- ・福江允准教授（兼任）の職名を昇任により、教授に変更。
- ・西村泰行講師（兼任）の就任年月を令和元年10月から平成31年4月に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	5	2	1	16	7	4	3	0	14
(4)	(4)	(2)	(1)	(11)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
7	4	3	0	14	7	4	3	0	14
[Δ1]	[Δ1]	[ 1 ]	[Δ1]	[Δ2]	[Δ1]	[Δ1]	[ 1 ]	[Δ1]	[Δ2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	5 名	5 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{16} = \boxed{87.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{5}{14} = \boxed{35.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	尾崎 聡	H29.3	必修	基礎ゼミナールⅠ	①	H29.3 自己都合のため就任辞退（29）			
				必修	基礎ゼミナールⅡ	①				
				必修	病理学Ⅱ	①				
				必修	病理学実習	①				
				必修	臨床検査総論Ⅱ	①				
				必修	臨床検査総論実習Ⅱ	①				
				選択	分析技術学	①				
				必修	臨床工学演習	①				
				必修	卒業研究Ⅰ	①				
				必修	卒業研究Ⅱ	①				
2	准教授	加藤 隆幸	H29.3	選択	化学	②	H29.3 自己都合のため就任辞退（29）			
				必修	医学英語	①				
				必修	基礎ゼミナールⅠ	①				
				必修	基礎ゼミナールⅡ	①				
				必修	人体の構造と機能Ⅱ	①				
				必修	生理学実習	①				
				選択	細胞生物学	①				
				必修	卒業研究Ⅰ	①				
必修	卒業研究Ⅱ	①								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	17	科目	必修	17	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	19	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	生駒 俊和	H31.3	必修	基礎ゼミナールⅠ	①	H31.3.31付け自己都合のため辞任（元）
				必修	基礎ゼミナールⅡ	①	
				必修	生理学実習	②	
				必修	生理機能計測学実習Ⅰ	②	
				必修	生理機能計測学実習Ⅱ	②	
				必修	生体計測装置学	①	
				必修	臨床工学演習	③	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
				必修	臨床実習	①	

合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	10 科目	必修	6 科目	必修	3 科目	必修	1 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	6 科目	計	3 科目	計	1 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	27 科目	必修	23 科目	必修	3 科目	必修	1 科目
		選択	3 科目	選択	2 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	30 科目	計	25 科目	計	4 科目	計	1 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{16} = \boxed{18.75} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

尾崎聡教授については、担当する予定であった授業科目が平成30年度から開講する科目であり、後任の教員をAC教員審査の手続きを経て、平成30年4月に採用したので、支障はない。

加藤隆幸准教授については、4科目を除き平成29年4月の開設までにAC教員審査により4人の専任教員及び1人の兼任教員が科目を担当しており、支障はない。4科目の「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」については、複数の専任教員が担当するため、実施に特段の支障はない。なお、これに係る学生への周知は、学生の履修に影響・支障が生じないために行っていない。

生駒俊和准教授について、「生理学実習Ⅰ」「生理機能計測学実習Ⅰ」「生理機能計測学実習Ⅰ」は、兼任教員が担当する。「臨床工学演習」は、専任教員がAC教員審査の手続きを経て、担当する予定である。「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」「生体計測学装置学」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「臨床実習」は、複数の専任教員が担当するため、実施に支障はない。なお、これに係る学生への周知は、学生の履修に影響・支障が生じないために行っていない。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (29年)	1. 臨床検査学及び臨床工学の両方の学問的素養を身に付けることが、医療現場における「迅速かつ連続的な業務の遂行」に資するとするのであれば、双方の専門職の有機的な連携を意識できる教育内容を実習科目の中に位置付けるか、新たに科目を開講することにより、シームレスに業務を遂行するための実践力を涵養する内容を教育課程において担保すること。	留意事項 臨床検査学及び臨床工学の2つの学問的素養を身につけた人材は、医療現場において迅速かつ連続的な業務の遂行、医療安全対策の強化に貢献できると考え、双方の専門職の有機的な連携を意識できる教育内容について、「臨床検査総論実習」「臨床微生物学実習」「臨床免疫学実習」「臨床血液学実習」「臨床生化学実習」「生理機能計測学実習」「生体機能代行装置学実習」「医用治療機器学・安全管理学実習」の実習科目の中ですでに計画している。	履行済
	2. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 本学の就業規則に定める定年年齢(満65歳)を超えて採用した専任教員及び完成年度前に定年年齢を迎える専任教員については、任期満了後、公募により適切な教員任用を図る。教員任用にあたっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野を考慮し、計画的に進めていく。あわせて、中堅・若手教員の育成を図っていく。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (30年)	○同一設置者が設置する既設学部等(薬学部薬学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 薬学部薬学科の入学定員を平成31年度より220人から200人に削減する。また、既存の教育課程改革を進め、平成31年度から新教育課程の運用を開始する。広報活動においてもこれまでの教育実績を高校関係者等へより一層の理解を促すため、広報活動の強化を図り、学生確保に努めていく。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <医療保健学部 医療技術学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

- ・ 北陸大学FD・SD委員会

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度北陸大学FD・SD委員会は月平均1回・年間13回開催され、医療保健学部の委員はほぼ全会議に出席した。  
また、北陸大学FD・SD委員会の下に教育資料開発ワーキンググループ、IR推進委員会を設置し、医療保健学部教員もメンバーとして加わっている。

###### c 委員会の審議事項等

- ・ 授業参観
- ・ 授業中間アンケート
- ・ 学修アンケート（授業評価アンケート）
- ・ 教学IR
- ・ FD・SD研修会 等

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

###### (1) FD・SD研修会

###### 【大学全体のFD・SD研修会】

- ・ 「学習成果をどのように把握し、教育の質的向上につなげるか～持続可能なアセスメントプランを策定する～」  
2018年9月22日（金）（京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授 山田 剛史先生）
- ・ 「教育の効果・効率・魅力を高めるインストラクショナルデザイン（教育設計学）」  
2019年3月8日（金）（熊本大学大学院 社会文化科学研究科 教授 鈴木 克明先生）

###### 【学部FD研修会】

- ・ 「メンタルケアに関する研修」  
2018年6月13日（水）（株式会社ホリスティックコミュニケーション・本学キャンパス相談室カウンセラー 宮前 諒平先生）
- ・ 「学修意欲向上をねらった学生による学生支援」  
2018年10月24日（水）（金城大学 学生相談室 植田 峰悠先生）

###### (2) 授業参観

前期・後期に授業公開週間を定め、学部の参観推奨科目を示している。参加者は、授業参観シートを提出し、授業担当者には自由記述欄をフィードバックしている。

###### (3) 授業中間アンケート等

学生の理解度の把握のために授業中間アンケートの実施をすすめており、実施状況は、学期末の「自己点検評価書」で確認している。

###### b 実施方法

- (1) FD・SD研修会  
【学内FD・SD研修会】  
全教職員宛にメール配信で実施案内を行い、参加を促している。  
各研修会では、事前に研修会の「一般目標」「到達目標」を示し、参加者にはアンケートを実施して、目標達成度の自己評価を含めた参加報告を行っている。
- 【学外FD研修会】  
北陸大学FD・SD委員会において、参加を推奨する研修会については、全教員宛に案内もしくは委員を通じて、学部より参加者を募り、研修に係る経費の補助を行っている。
- (2) 授業参観  
全教職員宛にメール配信で授業参観期間、参観推奨科目を示している。
- (3) 授業中間アンケート等  
小テスト、ミニツツペーパー、アンケート等、科目担当教員に実施方法は任せている。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
- ・ 年度当初に北陸大学FD・SD委員会で大学全体及び学部FD・SD研修会の年間スケジュールを計画している。業務に支障がある場合を除き、原則、研修会に参加することとなり、欠席者向けには録画視聴や資料配付等を行っている。  
また、他学部のFD研修会にも参加可となり、積極的に参加している。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ・ 初年次教育の見直し、教材の協働開発。
  - ・ 授業のアクティブラーニング化。
  - ・ 授業参観による授業方法、授業手法の改善。
  - ・ 授業中間アンケート等による形成的評価の実施。
  - ・ 学生のメンタルヘルスケア
  - ・ SAの育成
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- ・ 前期（7月）、後期（1月）に全ての科目において、Web上で、学修アンケート（授業評価アンケート）を実施している。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- ・ 集計結果は教員・学生にWeb上で公開している。学修アンケート（授業評価アンケート）の結果を受けて科目担当教員が作成した「自己点検評価書」は学内掲示板に公開している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

#### ① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

#### ② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現在、設置計画通り履行している。開設3年目（令和元年度）の本年は募集人員60人に対し72人が入学し、定員充足率は1.2倍（平成29年度：入学者64人、定員充足率1.06倍、平成30年度：入学者63人、定員充足率1.05倍）であり、本学部の認知度が定着しつつあると考える。入学者確保に向け、令和元年度以降もパンフレットやホームページ、進学ガイダンス等の手段・機会を積極的に活用し、本学部の教育内容を受験生に伝え、学修意欲の高い入学生を迎えることで教育・研究活動の充実に努める。

入学直後のフレッシュマンセミナーや各種ガイダンス、授業「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」を通して、本学部の人材養成の目的・教育理念は学生に浸透している。

1・2年目は、徹底した基盤教育及び医療人に必要な教養教育を行い、臨床検査学、臨床工学の基盤となる知識と技能について修得し、専門基礎知識の定着を図った。引き続き、3年目以降も臨床検査学・臨床工学2つの知識と技能を修得するよう専門基礎科目、専門科目へと順次的・体系的な教育を進める。

#### ② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年11月9日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

#### ③ 認証評価を受ける計画

・2021年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、検討中である。



- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和元年度)

a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ・  無 )

b 公表有の場合の公表(予定)時期 (令和元年8月1日) 予定

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

- (注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。